

法人（事業所）理念： 私たちは、障がいの有無に関わらず、自己の尊厳を保ち、個人が安心して豊かな生活を送れるような社会を実現することを基本理念としています。

支援方針： できることから少しずつ、できることしかできません  
学校・家庭・併用デイとの支援の共有  
「みとめる」「ほめる」「大事にする」いい事尽くしのアセスメント

5 領域を含めた支援プログラム（児童発達支援）

	ねらい	児童発達支援		具体的な支援内容
健康・生活	・ 健康生活の維持・改善 ・ 生活のリズムや生活習慣の形成 ・ 基本的生活スキルの獲得	①健康状態の把握	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である子どもの障がいの特性及び発達過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行う。	調理実習やおやつ作りを通した食育  衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な動作の訓練（トイレトレーニング）  健康状態を自分自身で把握・発信しそれに応じた活動や行動の選択  生活のリズムや習慣の形成  わかりやすさを意識した環境の構造化
		②健康の増進	睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう支援する。 また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に務めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。	
		③リハビリテーションの実施	日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。	
		④基本的生活スキルの獲得	身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。	
		⑤構造化等により生活環境を整える	生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。 また、障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。	

運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上  ・姿勢と運動・動作の補助手段の活用  ・保有する感覚の総合的な活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。	個別活動・集団活動を通した日常生活動作の向上  野外活動による運動機能の向上  感覚を刺激する遊びや活動の提供により、五感の発達・感性の育成  感覚過敏な子に配慮した環境設定
		②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。	
		③身体の移動能力の向上	自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。	
		④保有する感覚の活用	保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。	
		⑤感覚の補助及び代行手段の活用	保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援する。	
		⑥感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応	感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。	
認知・行動	・認知の発達と行動の習得  ・空間・時間、数等の概念形成の習得  ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	①感覚や認知の活用	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。	遊びや個別活動・集団活動を通した概念学習（言葉、数、空間・時間、物、お金等）  構造化や心の学習（ソーシャルスキルトレーニング）による適切な認知・行動の改善習得  時間や場所・活動等による切り替えや行動の調整  レジリエンス力の向上
		②知覚から行動への認知過程の発達	環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。	
		③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。	
		④数量、大小、色等の習得	数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。	
		⑤認知の偏りへの対応	認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。	
		⑥行動障害への予防及び対応	感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。	

言語・コミュニケーション	・言語の形成と活用  ・言語の需要及び表出  ・コミュニケーションの基礎的能力の向上  ・コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念の習得	①言語の形成と活用	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。	余暇時間、個別活動による、言葉と事物のマッチング  言葉、感情の表出・表現、伝え方  活動・余暇時間による絵カードや身振り、サイン等を用いたコミュニケーションの形成
		②受容言語と表出言語の支援	話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。	
		③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。	
		④指差し、身振り、サイン等の活用	指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。	
		⑤読み書き能力の向上のための支援	発達障がいの子どもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。	
		⑥コミュニケーション機器の活用	各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	
		⑦手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用	手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。	

人間関係・社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成  ・自己の理解と行動の調整  ・仲間づくりと集団への参加	①アタッチメント（愛着行動）の形成	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。	個別活動・ふれあい遊びなどによる他者を意識した遊びや活動の提供、アタッチメントの形成。
		②模倣行動の支援	遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。	
		③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援	感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。	
		④一人遊びから協同遊びへの支援	周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。	心の学習（ソーシャルスキルトレーニング）による自己理解・他者との良好な関係の構築  小集団・集団活動を通したルールの理解・気持ちや行動の調整。
		⑤自己の理解とコントロールのための支援	大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。	
		⑥集団への参加への支援	集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。	

5 領域を含めた支援プログラム（放課後等デイサービス）

	ねらい	放課後等デイサービス支援内容		具体的な支援内容
健康・生活	・健康生活の維持・改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得	①健康状態の把握	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である子どもの障がいの特性及び発達過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行う。	調理実習やおやつ作りを通した食育  健康状態を自分自身で把握し、それに応じた活動や行動の選択  時間に応じた行動の切り替え  わかりやすさを意識した環境の構造化
		②健康の増進	睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう支援する。 また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に務めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。	
		③リハビリテーションの実施	日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。	
		④基本的生活スキルの獲得	身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。	
		⑤構造化等により生活環境を整える	生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。 また、障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。	

運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上  ・姿勢と運動・動作の補助手段の活用  ・保有する感覚の総合的な活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。	個別活動・集団活動を通した日常生活動作の向上  野外活動による運動機能の向上  感覚を刺激する遊びや活動の提供により、五感の発達・感性の育成  感覚過敏な子に配慮した環境設定
		②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。	
		③身体の移動能力の向上	自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。	
		④保有する感覚の活用	保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。	
		⑤感覚の補助及び代行手段の活用	保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援する。	
		⑥感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応	感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。	

認知・行動	・認知の発達と行動の習得  ・空間・時間、数等の概念形成の習得  ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	①感覚や認知の活用	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。	個別活動・集団活動を通した概念学習（言葉、数、空間・時間、物、お金等）  構造化や心の学習（ソーシャルスキルトレーニング）による適切な認知・行動の改善習得  自己覚知による行動の調整・コントロール  レジリエンス力の向上
		②知覚から行動への認知過程の発達	環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。	
		③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。	
		④数量、大小、色等の習得	数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。	
		⑤認知の偏りへの対応	認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。	
		⑥行動障害への予防及び対応	感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。	

言語・コミュニケーション	・言語の形成と活用 ・言語の需要及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念の習得	①言語の形成と活用	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。	個別活動による、言葉と事物のマッチング、言葉の表出  活動・余暇時間による絵カードや身振り、サイン等を用いたコミュニケーションの形成  TPOに合わせた言葉遣いの習得
		②受容言語と表出言語の支援	話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。	
		③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。	
		④指差し、身振り、サイン等の活用	指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。	
		⑤読み書き能力の向上のための支援	発達障がいの子どもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。	
		⑥コミュニケーション機器の活用	各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	
		⑦手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用	手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。	

人間関係・社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加	①アタッチメント（愛着行動）の形成	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。	個別活動・ふれあい遊びなどによる他者を意識した遊びや活動の提供、アタッチメントの形成。  心の学習（ソーシャルスキルトレーニング）による自己理解・他者との良好な関係の構築  小集団・集団活動を通したルール理解・気持ちや行動の調整。
		②模倣行動の支援	遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。	
		③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援	感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。	
		④一人遊びから協同遊びへの支援	周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。	
		⑤自己の理解とコントロールのための支援	大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。	
		⑥集団への参加への支援	集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。	

家族支援

兄弟児を含め、ご家庭での悩みなどのご相談も承っています。  
また、年度の初めには希望者には、保護者面談を行い、環境の変化等による子どもの様子、悩みなどをお聞きし、円滑な家庭生活等を送れるようサポートしています。

地域支援・地域連携

近隣の商店やスーパーでの買い物体験など  
児童館や地域のイベント等、地域社会への参画を行っています。  
学校や地域のデイサービスと連携し研修・情報交換を行い、地域全体を絡めた支援を行っています。

移行支援

関係機関との繋がりを大切に、こども園→小学校→中学校→高校→就労先等切れ目がなくスムーズに移行できるよう支援を提供しています。

職員の質の向上

定期的な会社内での研修以外に、地域で行われている研修会への参加も行い、職員のレベルアップを目指しています。

主な行事

初詣、バレンタインデー、節分、ホワイトデー、七夕、工場見学、お月見、お誕生日会、  
学期毎のお疲れ様会、ハロウィン、クリスマス会

児童発達支援	
平日	
10:00~	お迎え・来所後の準備 朝の会・学習 個別活動（作業）
12:00~	お昼ご飯
13:00~	午睡
15:00~	起床 おやつ・余暇
16:00~	午後の会・集団活動
17:00~	帰りの会

放課後等デイサービス	
平日	
14:00~	お迎え・来所後の準備 学習・個別活動（作業）
15:00~	おやつ・余暇活動
16:00~	午後の会・集団活動 おやつ作り
17:00~	帰りの会・送迎開始

児童発達支援・放課後等デイサービス	
土曜・祝日・長期休暇	
9:00~	お迎え・来所後の準備 余暇活動
10:30~	朝の会・学習 個別活動（作業）調理実習
12:00~	お昼ご飯 余暇・午睡
14:00~	午後の会・集団活動 野外活動・おやつ作り
15:30~	おやつ・余暇活動
16:30~	帰りの会・送迎開始

※活動は組み合わせながら行っていますので、曜日によって異なります。